

『地盤調査-基本と手引き-』 正誤表

令和元年8月13日追加

ページ	段・行	訂正箇所 (誤)	訂正内容 (正)
表紙の裏	下から12行目	降伏圧力 ρ_y	降伏圧力 p_y
p. 42	図-5.8 図中左上	仮想起振点 (S)	起振点 (S)
p. 44	コーヒークレイク・3行目	移動観測	微動観測
p. 50	図-6.10 縦軸の単位	(0 m)	($\Omega \cdot m$)
p. 50	図-6.10 図の下部岩石名	泥岩貝石, 粘板岩, 花崗岩	泥岩頁岩, 粘板岩, 花崗岩
p. 52	2.1 3行目	起振源	振源
p. 58	アテンション・リーズ 5行目	地盤調査に導入した	地盤調査に適用した場合は
p. 58	アテンション・リーズ 図中 深さの数字の並び	1, 2, 3, 4, 5, 6, 4, 5, 6, 10 . . .	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10 . . .
p. 65	図-9.1, 上図の下部	空調	空洞
p. 65	最下行	できない	難しい
p. 68	4.1 本文1行目	$8 \sim 10 \times 10^8$	$8 \sim 10 \times 10^7$
p. 69	アテンション・リーズ 1行目	30×10^8	30×10^7
p. 87	図-12.5 図中	ボールコーンクランプ	ボールコーンクランプ
p. 105	1.3 2行目 (2か所)	地層断面図	地質断面図
p. 105	表-15.1 (b)粘土の場合 コンシステンシー	非常に柔らかい 柔らかい	非常に軟らかい 軟らかい
p. 110	表-15.3	Dunhum	Dunham
p. 113	1.1 6行目	JGS 1443	JGS 1433
p. 117	アテンション・リーズ 下から7行目	には, 図に示すように	には, 次頁右上図に示すように
p. 118	アテンション・リーズ 4行目	右図に示すように	右下図に示すように
p. 131	4.2 本文3行目	コーン貫入抵抗 q_c (kN/m ²)	コーン貫入抵抗 q_c (MN/m ²)
p. 151	補足説明	3.1(3)補足説明。	3.1(2)補足説明。
p. 162	5.2 本文1行目	図-22.1では,	1.1では,
p. 163	図-22.8	ディーブウェル	ディーブウェル
p. 169	図-23.7 縦軸	観測井の水位低下量 s_c (m)	観測井の水位低下量 s (m)
p. 193	図-26.4	図-26.4 支持力係数 K_{30} と 2.2 K_{75} の関係	図-26.4 支持力係数 K_{30} と K_{75} の関係